



日本麻酔科学会専門医
神山 有史

公益社団法人日本麻酔科学会は、周術期の患者の生体管理を中心としながら、救急医療や集中医療における生体管理、種々の疾病および手術を起因とする疼痛・緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で快適な医療を提供することを目的とし、麻酔科学会は以下の事項を通じてこれを達成します。

1. 質の高い麻酔科医の育成
2. 先端的研究の推進と新たな医療技術の創成
3. 正しい知識の啓発と普及
4. 他領域と協同する医療
5. 国際的医療への寄与

麻酔科学会認定病院の認定には下記の要件すべてを満たさねばなりません。

1. 麻酔科を標榜しており、常勤の麻酔科専門医が麻酔部門の長であること
2. 常勤の麻酔科医が管理する全身麻酔症例が年間 200 例以上あること
3. 安全な麻酔を行うための施設、設備が常備されていること
4. 図書の整備、学会出席等、麻酔科医の自己研鑽の機会が与えられていること
5. 専門医を育成するための十分な施設、設備が整備されていること

当院では 2011 年より私が麻酔科部門の長として麻酔管理を担当してまいりました。この 6 年間、県内外の病医院の先生方から紹介していただいた患者さんの増加に伴い手術件数は増加、麻酔科が担当する手術患者さんも着実に増加して 2015 年には麻酔科管理症例が 300 例、全身麻酔症例が 200 例を超えました。この状態を一つの励み・安全へのステップとするために麻酔科学会認定病院に応募し認定されました。麻酔科認定病院は麻酔科医標榜（厚生労働省）資格審査基準における基準 1 に規定する「麻酔に関する適当な指導者のいる病院」とみなされます。

麻酔科医を育てる病院環境を整備・保持して、患者さんに安全で確実な麻酔管理を行い、そして安心して周術期を過ごしていただけるよう職員ともども心掛けてまいります。

